

国語教育講座 日高 佳紀 教授



近現代の日本文学と文化・ 社会制度・読者の研究



キーワード 日本近現代文学/ 文学理論/ メディアと読者/ 日系カナダ移民と日本語文学/

どのような研究をなぜ行っているか

日本近現代文学を専攻し、谷崎潤一郎・村上春樹などの作品分析を切り口に、メディアと読者についての研究を行っています。また、フィクション論や読者論を中心とした文学理論の研究、日系カナダ移民の日本語文学環境に関する調査・研究なども行っています。日本語による文学表現の特質を考えると、それがいかなる状況や環境で読まれたかという問題を接続することで、時代や文化、社会制度と文学との関わりを明らかにすることを目指しています。

研究成果は、学部・大学院研究における文学専門領域の教育や、学校教育における教材研究、教材開発といった領域に活かしています。また、一般市民を対象とした公開講座や、国内や海外の大学・研究機関での日本語・日本文学教育や日本文化理解のための講演なども行っています。

また、高等学校用国語教科書の編集・監修の仕事にも携わっています。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

- 1) 日本近現代文学研究の成果を、大学の学部・大学院における文学専門領域の研究において役立てることができます。
- 2) 日本近現代文学研究をもとに、学校教育の教材研究、教材開発に関する業務において役立てることができます。
- 3) 日本近現代文学研究の成果を、社会的な生涯教育の領域において役立てることができます。
- 4) 日本近現代文学研究の成果を、国際的日本文学・文化教育の領域において役立てることができます。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

数研出版(株)高等学校用国語教科書の編集委員 (2009年度～)

奈良県観光ボランティア研修事業において「近代文学の〈奈良〉」について講演 (2004年度)

台湾国立台湾大学において「大正期メディアと文学」について講演 (2010年度)

メキシコ大学院大学アジア・アフリカセンターにおいて日系カナダ移民の文学について講演 (2010年度)

タイ国立チュラーロンコーン大学において「1980年代の若者文化と文学」に関する講演 (2013年度)

甲南大学プレミア・プロジェクト「日本文化の多面的理解に基づくグローバルキャリア人の育成」における講演 (2016年度)

専修大学大学院公開講座「日本文化と日本語」における講演 (2018年度)

韓国・高麗大学校「日本文学の国際化戦略と教育」プロジェクトにおける講演 (2018年度)

大阪府茨木市・川端康成文学館の連続講座「大正の文豪たち」における講演 (2019年度)

芦屋市谷崎潤一郎記念館の特別展「大正の〈文豪〉ブーム」関連講座における講演 (2021年度)